

地 域 経 済 動 向

平成 16 年 5 月 31 日

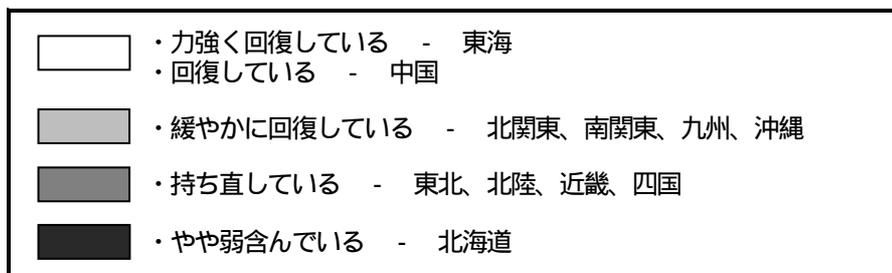
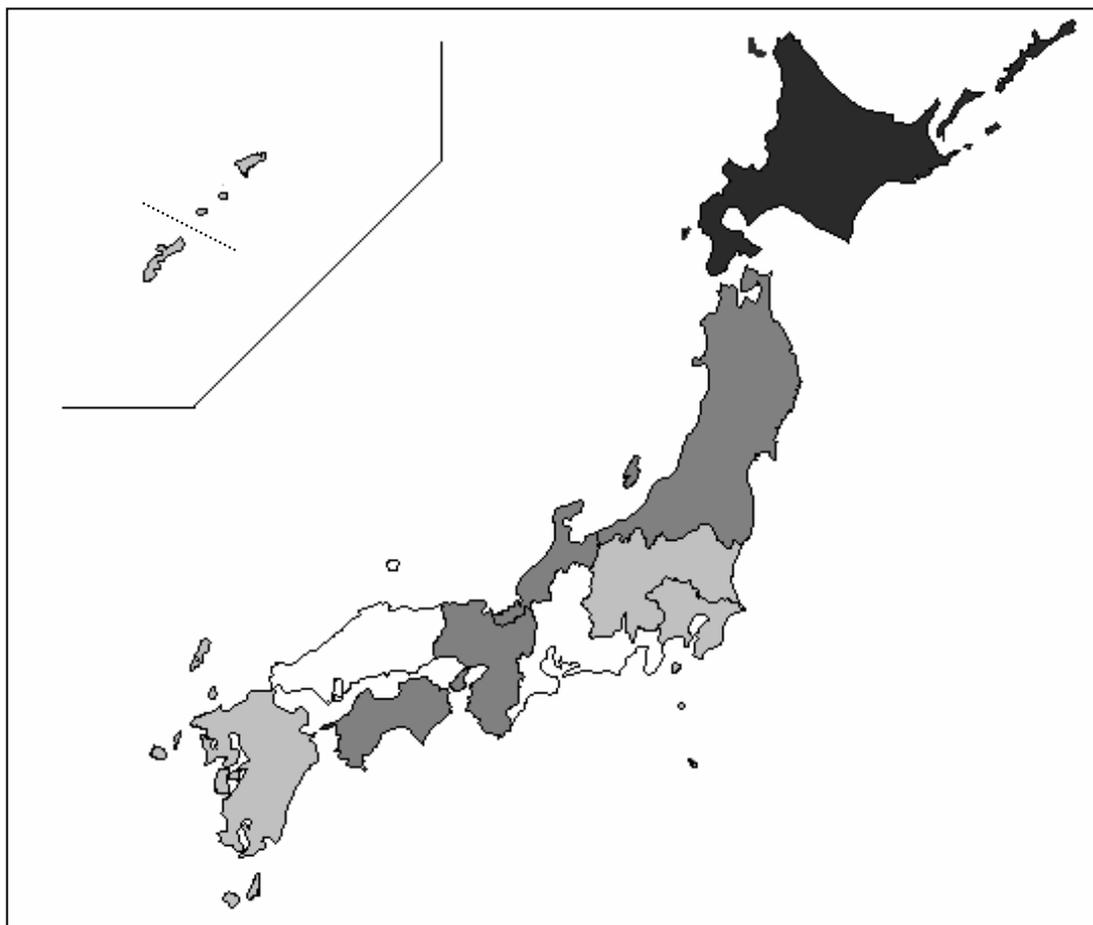
内閣府政策統括官室
(経済財政分析担当)

目 次

- 1 概況
- 2 トピック
- 3 地域別の動向
 - (1) 北海道
 - (2) 東北
 - (3) 北関東
 - (4) 南関東
 - (5) 東海
 - (6) 北陸
 - (7) 近畿
 - (8) 中国
 - (9) 四国
 - (10) 九州
 - (11) 沖縄
- 4 地域別景況インデックス
- 5 主要指標
- 6 参考資料

1 概況

(1) 各地域の景況判断



| 各地域の景況判断 | 北海道 | 東北 | 北関東 | 南関東 | 東海 | 北陸 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 |
|----------------------------|-----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 力強く回復している | | | | | | | | | | | |
| 回復している | | | | | | | | | | | |
| 緩やかに回復している/ 緩やかな回復がみられる | | | | | | | | | | | |
| 持ち直している | | | | | | | | | | | |
| やや弱含んでいる | | | | | | | | | | | |

(備考) は、今回調査の判断。 は、前回調査の判断。

今回調査（平成16年5月）の前回調査（平成16年2月）との比較

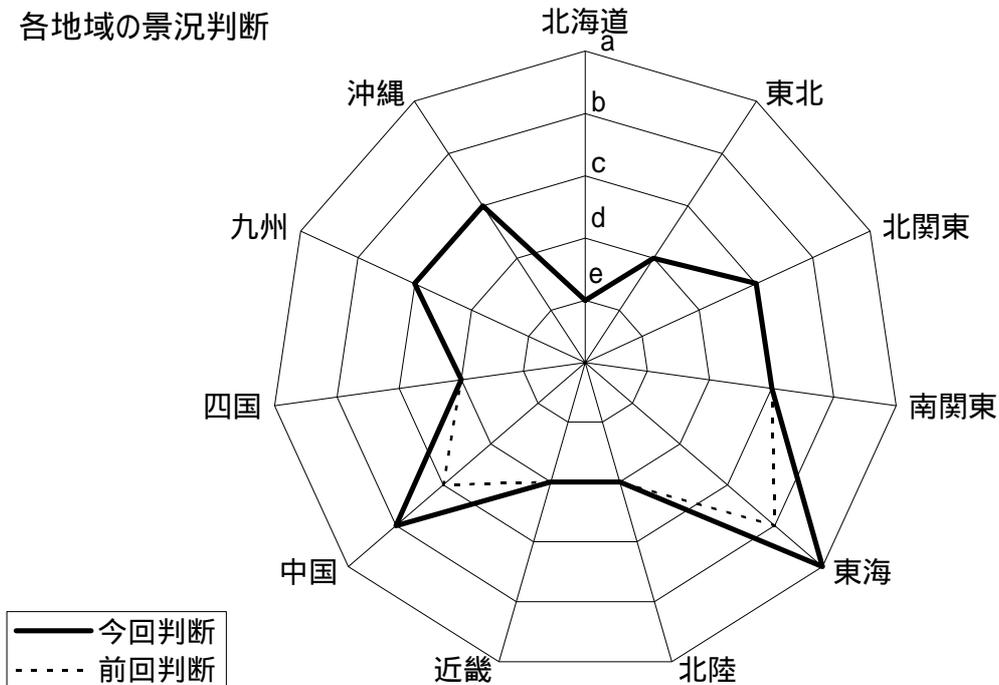
上方修正・・・2地域（東海、中国）

下方修正・・・なし

各地域の景況判断は、東海では雇用情勢などを理由として、中国では個人消費、雇用情勢などを理由として、それぞれ上方修正となった。

その他の9地域（北海道、東北、北関東、南関東、北陸、近畿、四国、九州、沖縄）については前回調査と同じである。

各地域の景況判断



- a: 力強く回復している
- b: 回復している
- c: 緩やかに回復している / 緩やかな回復がみられる
- d: 持ち直している
- e: やや弱含んでいる

(2) 各地域の景況判断と主要変更点

東海では、景気は力強く回復している。

| | 前回(平成16年2月) | 今回(平成16年5月) |
|-------|-------------|-------------|
| 東海 | 回復している | 力強く回復している |
| 鉱工業生産 | 増加 | |
| 個人消費 | 緩やかに持ち直している | |
| 雇用情勢 | 改善 | 着実に改善 |

中国では、景気は回復している。

| | 前回 | 今回 |
|-------|-----------------------------|---------|
| 中国 | 緩やかな回復がみられる | 回復している |
| 鉱工業生産 | 増加 | 基調として増加 |
| 個人消費 | やや弱含み | おおむね横ばい |
| 雇用情勢 | 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている | 改善 |

北関東、南関東、九州、沖縄では、景気は緩やかに回復している。

| | 前回 | 今回 |
|-------|-------------------------|------------|
| 北関東 | 緩やかな回復がみられる | 緩やかに回復している |
| 鉱工業生産 | 増加 | 緩やかに増加 |
| 個人消費 | おおむね横ばい | |
| 雇用情勢 | 依然として厳しい状況だが、改善の動きがみられる | 改善 |

| | 前回 | 今回 |
|-------|-----------------------------|-------------|
| 南関東 | 緩やかな回復がみられる | 緩やかに回復している |
| 鉱工業生産 | 増加 | 緩やかに増加 |
| 個人消費 | おおむね横ばいとなっているが、持ち直しの動きもみられる | 緩やかに持ち直している |
| 雇用情勢 | 依然として厳しい状況だが、改善が続いている | |

| | 前回 | 今回 |
|-------|-----------------------------|----------------------------|
| 九州 | 緩やかに回復している | 緩やかに回復している |
| 鉱工業生産 | 緩やかに増加 | 増加 |
| 個人消費 | やや弱含み | |
| 雇用情勢 | 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている | 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている |

| | 前回 | 今回 |
|------|-----------------------------|----------------------------|
| 沖縄 | 緩やかに回復している | 緩やかに回復している |
| 観光 | 引き続き増加 | 増加 |
| 個人消費 | 緩やかに持ち直している | |
| 雇用情勢 | 依然として厳しい状況の中、改善の動きに足踏みがみられる | 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている |

東北、北陸、近畿、四国では、景気は持ち直している。

| | 前回(平成16年2月) | 今回(平成16年5月) |
|-------|----------------------------|-------------|
| 東北 | 持ち直している | 持ち直している |
| 鉱工業生産 | 増加 | 基調として増加 |
| 個人消費 | やや弱含み | おおむね横ばい |
| 雇用情勢 | 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている | |

| | 前回 | 今回 |
|-------|-----------------------------|-------------|
| 北陸 | 持ち直している | 持ち直している |
| 鉱工業生産 | 緩やかに増加 | |
| 個人消費 | おおむね横ばい | 緩やかに持ち直している |
| 雇用情勢 | 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている | |

| | 前回 | 今回 |
|-------|----------------------------|-----------------------------|
| 近畿 | 持ち直している | 持ち直している |
| 鉱工業生産 | 増加 | |
| 個人消費 | おおむね横ばい | |
| 雇用情勢 | 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている | 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている |

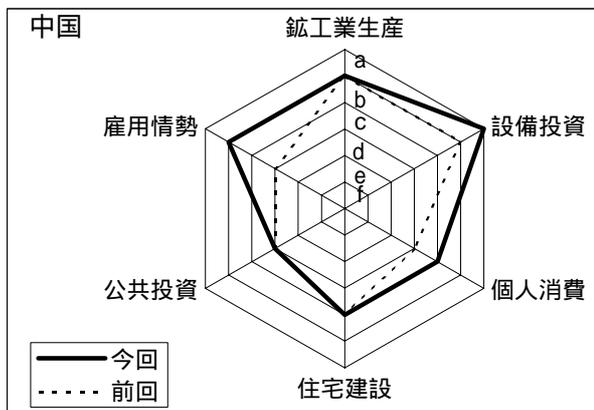
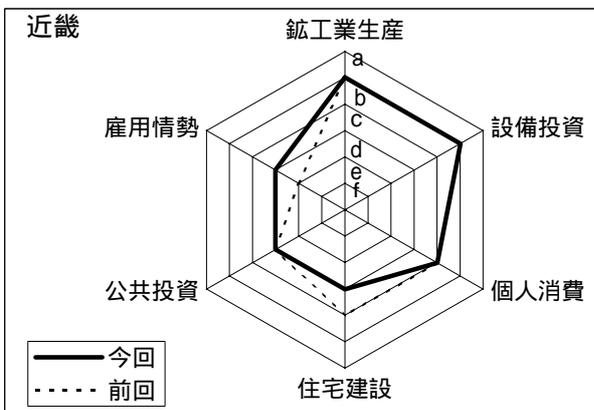
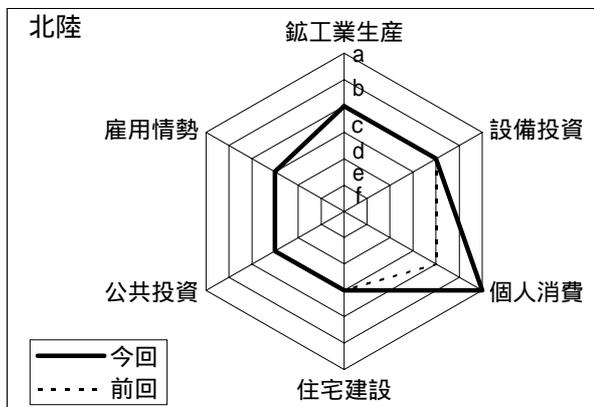
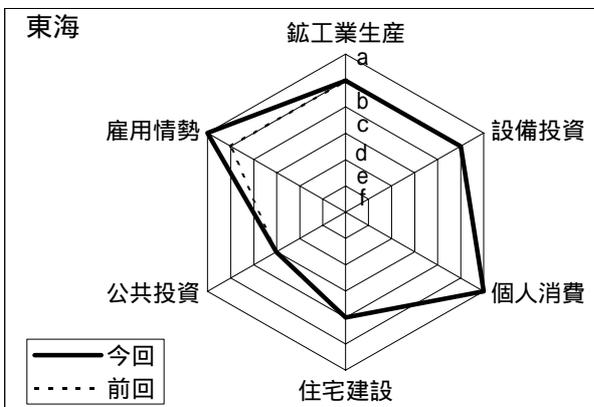
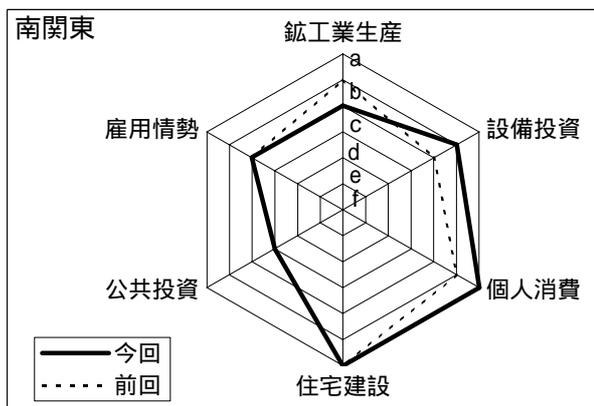
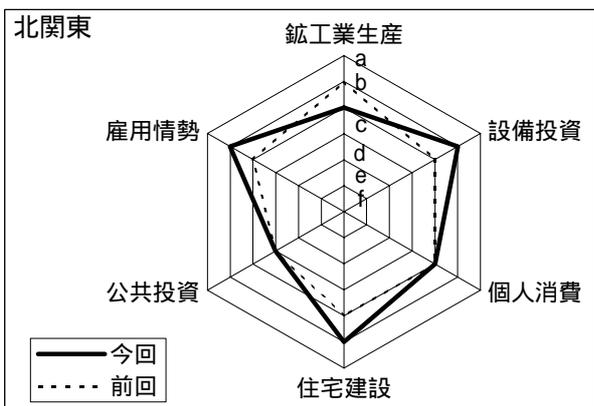
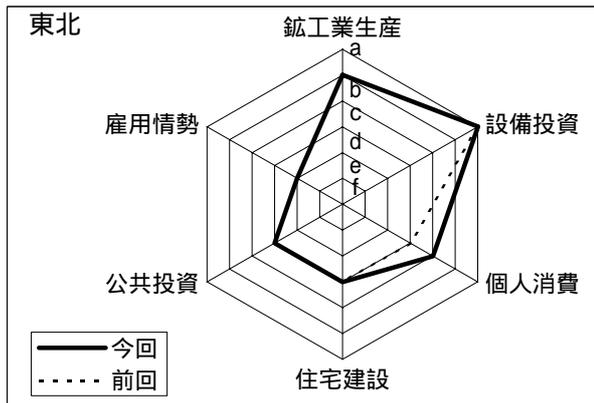
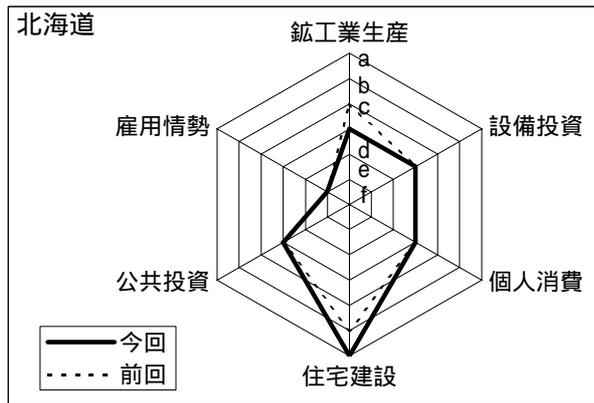
| | 前回 | 今回 |
|-------|----------------------------|-----------------------------|
| 四国 | 持ち直している | 持ち直している |
| 鉱工業生産 | 増加 | おおむね横ばい |
| 個人消費 | おおむね横ばい | おおむね横ばいとなっているが、持ち直しの動きもみられる |
| 雇用情勢 | 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている | |

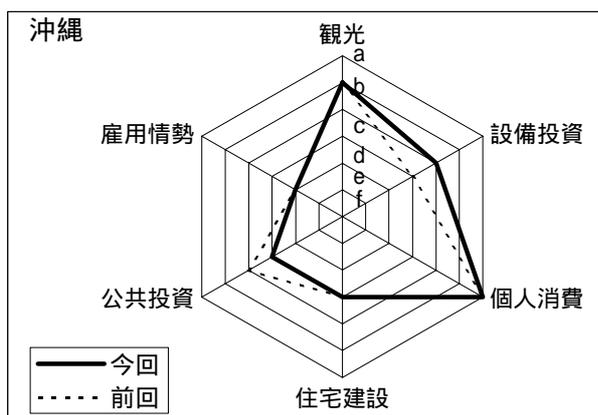
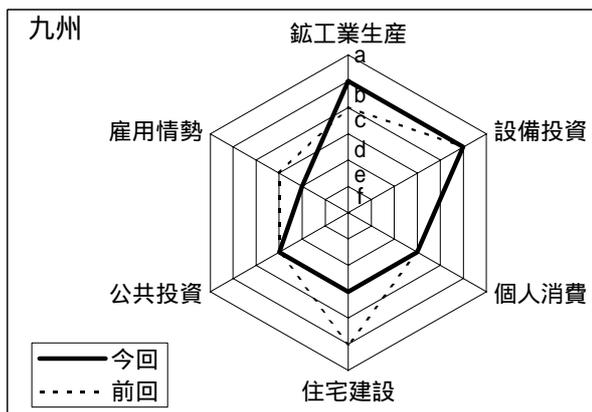
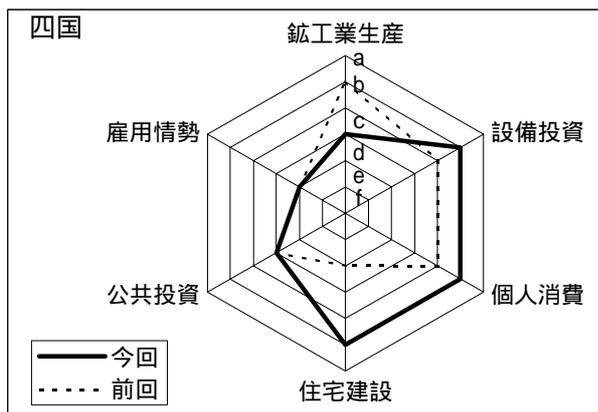
北海道では、景気はやや弱含んでいる。

| | 前回 | 今回 |
|-------|----------|----------|
| 北海道 | やや弱含んでいる | やや弱含んでいる |
| 鉱工業生産 | 緩やかに増加 | おおむね横ばい |
| 個人消費 | やや弱含み | |
| 雇用情勢 | 依然として厳しい | |

(注) 今回調査欄の空欄は変更がなかったことを示す。
 は上方修正、 は変更なし、 は下方修正を表す。

(3) 今回調査(平成16年5月)の前回調査(平成16年2月)との比較





(凡例) 鉱工業生産 (注) 沖縄は観光

- b: 引き続き増加 / 増加 / 基調として増加
- c: 緩やかに増加
- d: おおむね横ばい

設備投資

- a: 15年度は前年度を大幅に上回る見込みとなっている
- b: 15年度は前年度を上回る見込みとなっている
- c: 15年度は前年度とほぼ同水準の見込みとなっている
- d: 15年度は前年度を下回る見込みとなっている

個人消費

- a: 緩やかに持ち直している
- b: おおむね横ばいとなっているが、持ち直しの動きもみられる
- c: おおむね横ばい
- d: やや弱含み

住宅建設

- a: 大幅に増加
- b: 増加
- c: おおむね横ばい
- d: 減少
- e: 大幅に減少

公共投資

- c: 前年とほぼ同水準になっている
- d: 前年を下回っている

雇用情勢

- a: 着実に改善している
- b: 改善している
- c: 依然として厳しい状況だが、改善が続いている / 依然として厳しい状況だが、改善の動きがみられる
- d: 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている
- e: 依然として厳しい状況の中、改善の動きに足踏みがみられる / 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている
- f: 依然として厳しい

2 トピック

やや弱含んでいる北海道の経済

北海道は、他地域に比べて回復が遅れている。これは、第一に、他地域に比べて公共投資依存度が高いこと、第二に、今回の回復の柱となっている製造業のウェイトが小さいこと、第三に、観光も振るわなかったことが挙げられる。

まず、公共投資についてみると、依存度は沖縄について高い。また、過去2度の回復局面では景気対策による公共投資の景気下支え効果がみられたが、今回は公共投資削減の影響が大きい(図1、2)。

次いで製造業をみると、今回の景気回復は全国的には製造業、中でも電子部品・デバイス工業や輸送機械工業といった好調分野によってけん引されている。しかし、北海道の産業構造をみると、全国よりも農林水産業や建設業のウェイトが高い上に、製造業、中でも、電子部品・デバイス工業や輸送機械工業の割合が低い(図3、4)。

また、主要産業の一つである観光をみても、平成16年3月まで、8か月連続で来道者数が前年を下回っていた(図5)。ただし、直近の状況を見ると、連休中(4月28日から5月5日までの8日間)の鉄道旅客輸送実績はおおむね好調であった(図6)。

以上のように、他地域とは異なる経済構造を持つ北海道経済であるが、4月の来道者数が前年を上回ったという明るいニュースもあり、今後、他地域でみられるような景気回復の動きにつながっていくか、注視していく必要がある。

図1 公共投資依存度(平成13年度)

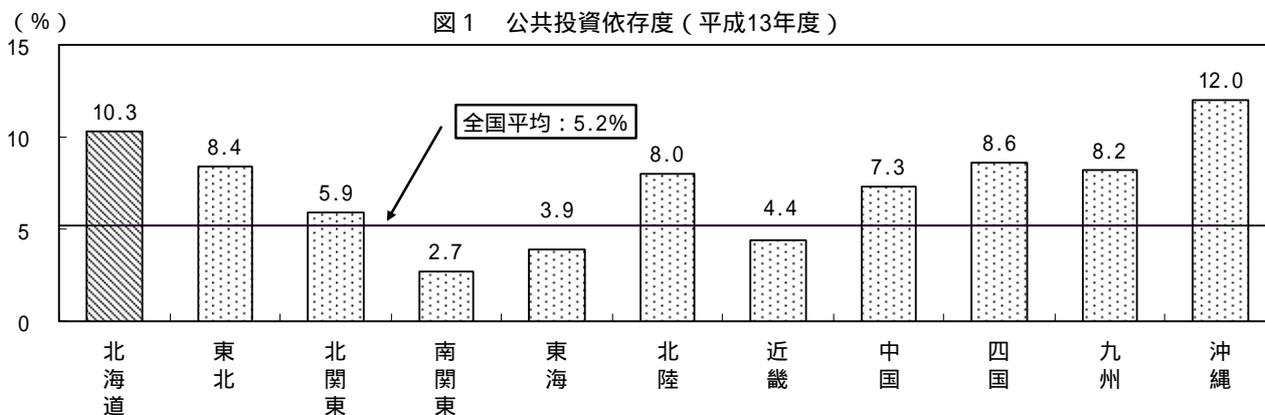


図2 景気の谷を起点とした公共工事請負金額の増減率

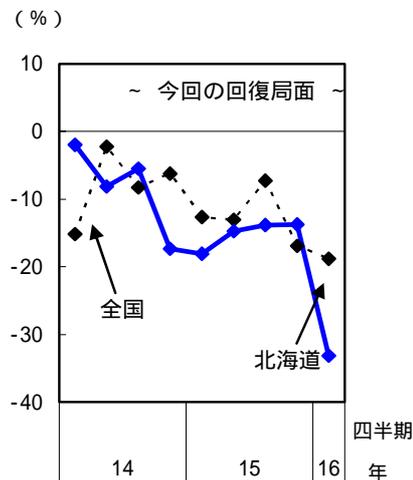
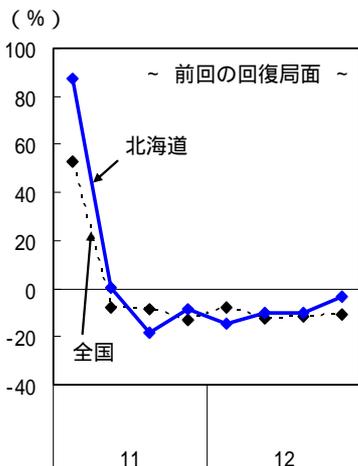
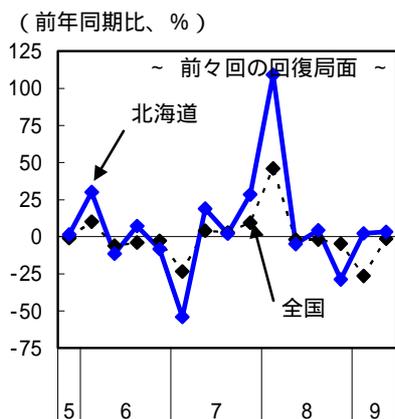
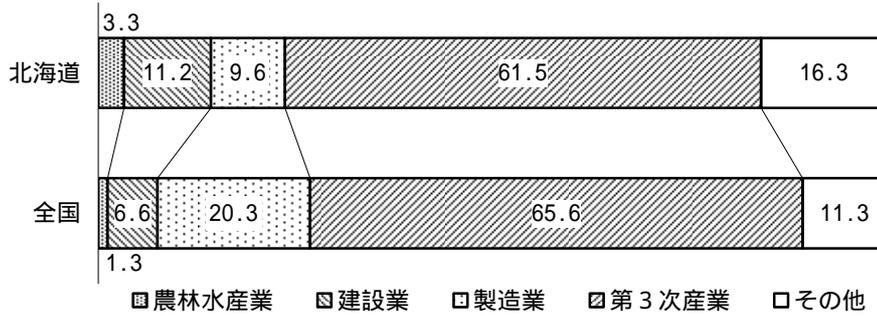
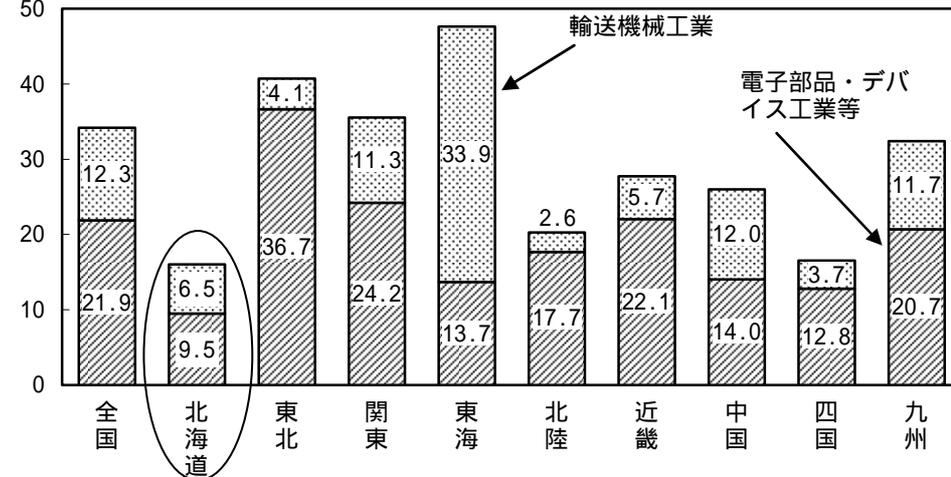


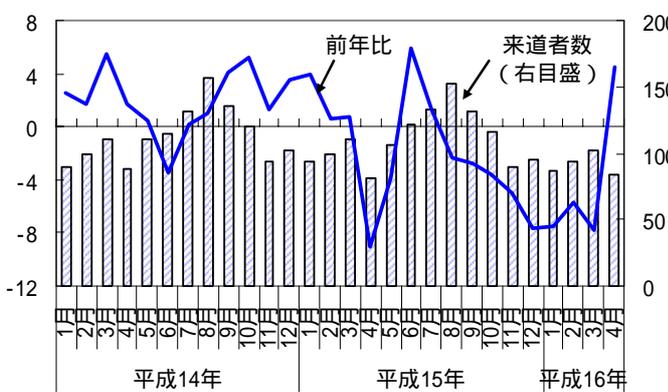
図3 域内総生産に占める産業別構成比（平成13年度）



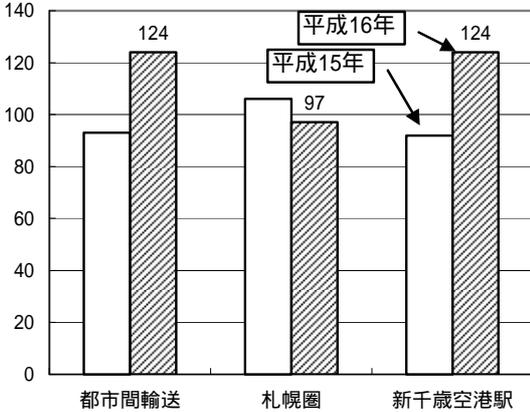
(%) 図4 鉱工業生産指数付加価値額ウェイトにおける好調分野の割合



(前年同月比、%) 図5 来道者数の推移



(前年同月比、%) 図6 ゴールデンウィーク中のJR北海道利用状況



(備考) 図1、3は、内閣府経済社会総合研究所の「県民経済計算年報」により作成。地域区分A。公共投資依存度 = 県内総資本形成のうち一般政府 ÷ 県内総支出(実質) × 100。

図2は、保証事業会社協会、北海道建設業信用保証株式会社等の「公共工事前払金保証統計」により作成。

図4は、経済産業省、各地域の経済産業局の「鉱工業生産動向」により作成。地域区分Bだが、東海は岐阜、愛知、三重の3県、北陸は富山、石川、福井の3県。“電子部品・デバイス工業等”は、“電子部品・デバイス工業”“電気機械工業”“情報通信機械工業”。

図5は、北海道観光連盟調べ。

図6は、北海道旅客鉄道株式会社調べ。